



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.12 2004.10.27( No.2339 )

第2560地区ガバナー / 横山 芳 郎  
会 長 / 渡 邊 喜 彦  
会長エレクト / 小 越 憲 泰(クラブ奉仕A)  
副 会 長 / 渡 辺 勝 利(クラブ奉仕B)  
幹 事 / 五十嵐 寿一  
S A A / 船 越 正 夫  
会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び事務局 /  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場 / TEL 35-3311  
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

本日の出席会員数:66名中48名  
先々週出席率:82.26%

【ヴィジター】

・三条ローターアクト会長 小林克則さん

【ゲスト】

・国際ロータリー第2560地区  
ガバナー 横山芳郎様  
地区幹事 小山楯夫様

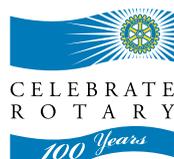
【先週のメイクアップ】

[ 10.25 ] 三条南へ

・五十嵐昭一さん

[ 10.26 ] 三条北RCへ

・渋谷正一さん、 五十嵐晋三さん、  
加藤紋次郎さん、石橋育於さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」  
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

3クラブ代表 三条RC 渡邊喜彦会長



3クラブを代表して、三条ロータリークラブ会長の渡邊喜彦ですが御挨拶申し上げます。

本日は、横山ガバナー、小山地区幹事、細井アシスタントガバナー、ようこそお出で下さいました。三条市の3クラブ会員こぞって心より歓迎申し上げます。

本年は、当初7月28日に予定されておりましたが、7月13日の大水害により延期となり本日の開催となりました。その際は2560地区の皆様を始め横山ガバナー、そして各地ロータリークラブの方々より多くの心温まる御支援の金品やお言葉を頂戴いたしましたこと3クラブを代表して心より御礼申し上げます。

また、本日の予定で進めておりましたところ今度は、つい先日10月23日夕方の新潟中越大地震が発生してしまいました。

ガバナーにおかれましては、度重なる災害により各地の被災地ロータリークラブへの対応等で大変お疲れのことと推察申し上げます。どうぞくれぐれも御健康に留意され御活躍ください。

さて、本年はロータリー創立100周年を迎えます。グレンE・エステス・シニアRI会長の提唱されています「ロータリーを祝おう」のもと、大いに会員こぞってお祝いしたいと思います。そして同時に、これから向かっていく200年へ向け「歴代の諸先輩方の親睦と奉仕」に、より磨きをかけ「超我の奉仕」を基本に世界人類の幸せの実現に取り組んでまいりたいと思います。

どうぞ本日は、よろしく御指導をお願い申し上げます。会長の挨拶とさせていただきます。

# 11月のお祝い

## 会員誕生祝

- 9日 西山徳厚さん
- 12日 柳取崇之さん
- 26日 熊倉昌平さん
- 29日 渋谷健一さん

## 夫人誕生祝

- 5日 川瀬弓子さん(康裕)
- 10日 外山ヤツさん(雅也)
- 12日 渋谷トヨさん(健一)
- 17日 中村範子さん(和彦)
- 25日 細井千代子さん(増雄)
- 30日 船越広美さん(正夫)

## 結婚記念祝

- 2日 外山雅也さん
- 3日 川瀬康裕さん
- 3日 早川昭雄さん
- 5日 清水良一さん
- 6日 本間道雄さん
- 9日 青木文雄さん
- 9日 成田秀雄さん
- 11日 西山徳厚さん
- 11日 金子俊郎さん
- 12日 五十嵐力さん
- 18日 高森章仁さん
- 22日 並木富士雄さん
- 22日 柳取崇之さん

## 100%出席賞

- 6年 佐野勝榮さん
- 1年 会田二郎さん



# 横山芳郎ガバナー公式訪問

## 記念卓話

国際ロータリー 第2560地区ガバナー

横山芳郎様



横山芳郎でございます。お見受けしたところ私の先輩、同僚、後輩の方々が大勢居られまして、よその閲覧時の感じがございません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず最初に三条地区、中越地区の水害のお見舞いを申し上げます。いろいろお話をお聞きしますと、まだ

水害の解決が十分に行われていないというお話もあり、何とか一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、本日ガバナーの講話として歴代のロータリーのお話をと思っておりましたが、そういうことを言っている状態ではないということの方々から言われてまして、講話を変更し、その方のお話をさせていただきたいと思っております。初めの予定では、ロータリーのことを身近に感じていただきたいということをお話したいと思っておりましたが、災害がこんなに多発致しますと2560地区としてこれを放っておいて何か行事をやるということがだんだんと後ろめたいというような感じになります。このすぐ前に地区大会があり、皆様大勢の出席をいただきまして私もほっとし、血圧も下がってきておりましたが、今度また中越地区に震災が起き、これに対してどの様にバックアップしていけばよいのか心を悩ましております。被災地区のアシスタントガバナーともなかなか連絡が取れません。連絡が取れても長岡との境のトンネルが阻害されて栃尾地区から外に出られないとお話をお聞きし、普通ならAGの方々にいろいろお願いするところですが、なかなかそういう単純な図式ではお願いするということが出来ない状態でした。また、全国からどうするどうすると電話が来ますと、それに対してもいちいちお答えしなくてはなりませんし、たとえば十日町に救援物資を送るのにどうすれば良いかと聞かれまして、私と致しましてはお答えするすべがないという状況が2、3日続いて居りました。昨日、新潟クラブの例会があり、新潟クラブの会長からも地区はいったい何をしているんだとお叱りを受けました。私どもは私どもとして一生懸命やっているのですが、例えば県庁に電話して救援物資をどうやって送るのかと聞きまして、県庁としてはここに電話するようにと番号は教えてくれますが、そこに電話をしても通じないという状態がずっと続いており、新潟クラブの例会で何とかあなた方がしなければならぬのではないかと盛んにお叱りを受けた次第です。また、100周年記念で新聞広告をするという件につきましても、それも寄付をお願いするというのを各クラブに通知を出しただけで、そんなのきなことを言っているのかとお叱りを受けました。これまでやってきたことをいろいろ説明しましたが、どうしても納得していただけないような状態でした。

そこでいろいろ考えてみますと、地区というところ

# ニコニコBOX

## 渡邊喜彦さん

横山ガバナー、小山地区幹事、細井AG、本日はご苦労様です。今日一日よろしくお願い致します。藤田説量さん、五十嵐寿一さん、長谷川有美さん、齋藤弘文さん、加藤紋次郎さん、石月良典さん、日戸平太さん、渡辺勝利さん、外山雅也さん、明田川賢一さん、荻根澤隆雄さん、丸山行彦さん、本間道雄さん、石橋育於さん、小越憲泰さん、猪口英夫さん、渋谷正一さん、松谷昊吉さん、伊藤寛一さん、松永一義さん、石塚欣司さん、佐藤武さん、吉井俊介さん、平原信行さん、杉山幸英さん、金子俊郎さん、会田二郎さん、橘直樹さん、熊倉昌平さん、早川昭雄さん、齋藤真澄さん、五十嵐晋三さん、山田富義さん  
横山ガバナーを歓迎いたします。

10月27日分 ￥ 34,000

今年度累計 ￥ 322,000

は何回もこれまで申しましたように、力づくで各クラブにこれこれの様にしなさいというような命令するような力は全然ないのです。これまではガバナーも地区もみんな偉い地区ガバナーもおられました、私の時から地区というのは一つのエージェンシー(代行機関)にすぎないようになり、上からRIの指示をクラブに伝え、クラブからはこういう時はどうしたらよいかを伝え、こういう時はこの様にしなさいと知らせる代理人のようになった訳です。これは私が考えたのではなくて、今年の2月にアナハイムに行きましていろいろ講義を受けましたが、その時に、これまでのやり方をRIも考え方を換え、地区というものが優先するよりもクラブが優先するということを提唱して来ました。そしてRIの会長もロータリークラブで一番偉いのはRI会長ではなくて、120万の会員の皆さんと各クラブの会長さんが一番偉いとはっきりと言明されました。そういうことからしても地区というものが「こうしなさい、ああしなさい」という立場ではないということをお教えられ、日本に戻りましてそういう形の中でいろいろ計画を立ててまいりました。そういうことを言いますと、これまでの古い方々からお叱りを受けます。地区というものはどんどん命令してクラブに何もかもやらせなければならぬんだよと言われます。地区やガバナーが偉くないなんて言いますと、昔のゆったりとした壮大なロータリーの方が良かったと言われ、身もふたもないような気持ちでございましたが、そういうふうにRIも少しずつ考え方を年々変えてまいりました。そして結局、『地区』と申しますのはRIの考え方を皆様にお伝えするという説明義務があるということを感じ、そのことに徹しましてクラブに命令するということにはしないというふうにはっきりと割り切りました。もう、いろいろな会、ペッツでも地区協でも説明することに対してだけ一生懸命努力することにしました。

理解された方はそれなりに理解していただけたと思いますが、人間の脳の中にインプットされた思想というものは一張一弛ではアウトプットしないもので、昔のロータリーが良いという風な、そういうことが浸透するまでに3、4年は掛かるというふうに私は理解しております。そんなことで私は変なガバナー、いろいろ変わったことをやるガバナーと言われております。たとえば今日の合同例会につきましても、こんなことをしているとRIからオミットされるぞと言う人がいました。今までは一つ一つガバナーがクラブをまわり講話をするということが普通でしたので、このようにまとめて講話をするということが非常に恥ずかしいことだと皆様は思っておられた訳ですが、しかしRIと致しましてはなるべく沢山の人たちにロータリーの考え方をガバナーの力を余り使わないようにして伝えてもらいたいということが眼目にございました。例えば、アシスタントガバナーの制度も昔はそういうものはなく、皆ガバナーが行って講話をしたり、協議会をしたりいろいろ致しましたが、今では地区の近代化というプランの下、それ

をアシスタントガバナーにお願いするということをRIが提唱しアシスタントガバナーという制度を作り、いちいちガバナーがクラブに赴かなくてもアシスタントガバナーとクラブが密接に関係していただいてガバナーに報告をして頂く制度になってまいりました。そんなふうにロータリーの制度も年々少しずつ変わってきた訳でございます。それに従って私も動いておりますが、一番大事なことはロータリーの基本理念、そういうものに関しましては少しの変わりもないのです。理念まで変えるようではロータリーではなくなってしまいますから、そういう制度が変わっても理念が変わるということにはございません。そこだけは、はっきりさせておきたいと思っております。

災害のことに話は戻りますが、ロータリーの理念に沿って災害の処理をどういうふうにするかということは大変難しい事でございます。これまでに例がないことであり、震災につきましては阪神淡路の震災が9年前にありましたが、その時にやはり試行錯誤されてロータリークラブがどのように動いて力を発揮したかを神戸の芦屋川クラブの田中毅パストガバナーに地区幹事が電話を掛けましていろいろお聞き致しました。その様子を例会前の会長幹事懇談会に於いてお話しさせていただきました。一口で申しますと、義援金を頂戴しておりますけれども、それをただ県庁とか赤十字とかにポンと出すということではなくてロータリーの理念に従ってそれを生かすように、それを奉仕に使えるような考え方にしてもらいたいという事でございます。そして三条地区の水害についてですが、水害の見舞金を新潟地区がいろいろなクラブ或いは地区から頂戴しましたそのお金をアシスタントガバナーにお渡し致しましたが、その後ガバナー会という所が全国から募金を募りましてお金を集めてくれました。その時は新潟と福井の水害があり、新潟福井水害を援助するという名目でお金を集めてくれました。この前ガバナー会の折に両地区に送ろうとお話ございましたが、福井県のガバナーといろいろお話を致しまして、その後もいろいろと水害がありましたし、いろいろな台風の災害もありました。それを全部いただくというのは心苦しいので、その事も考慮してということを2地区から申請いたしました。このお金は新潟と福井の両地区のために集めたお金だから両地区に半分ずつ送るといって下さいまして2560地区に送られてまいりました。それは我々が地区で集めたお金よりも桁違いの金額であり、それをどういうふうに分配するか、それは地区がこれこれこういうふうに使いなさいとかではなく、聞きましたところ、三条地区のロータリアンの方が水害のために仕事をやめられロータリーを退会された方があると聞いております。そういうことを考えますと各クラブが自分の所で考えて一番良い方法で使って頂いた方が良く私も考えております。先程会長さんからお話がありましたように細井アシスタントガバナーの処にお集まりいただいて、各クラブの自主性によってそのお金をお使いいただくというふうにお話がありましたので、

三条地区の皆様のご意向に沿ってそのお金を使って  
 いただきたいと思ひます。三条だけではなくて長岡、  
 栃尾、見附のそういうところの水害もありますので、  
 その分配方法を考えますと、どういふふうにしたら  
 一番良いのかと申し上げました。ここにお集まりの  
 皆様も若しご意見がありましたら、クラブの会長さん  
 や幹事さんにお申し出いただき、一番良い方法を  
 考えて行きたいということが今日のお話でござい  
 ます。どうも有難うございました。



次週例会 11月17日

親睦例会 於 松木屋

次々週例会 11月24日

会員卓話 佐藤 武会員

